

平成22年度ダイオキシン類濃度監視結果について

1 調査の目的

高知県において、継続的なダイオキシン類濃度調査により、地域の汚染の状況を把握することによって、発生源の状況や高濃度地域の把握、排出抑制対策の効果の把握等を行い、ダイオキシン類対策の基礎資料とすることを目的としています。

2 調査地点

- (1) 公共用水域水質 18 地点
- (2) 公共用水域底質 18 地点
- (3) 地下水質 2 地点

3 調査結果の概要

(1) 公共用水域水質

ダイオキシン類濃度は、0.043～0.34 pg-TEQ/L(平均値0.092 pg-TEQ/L)であり、すべての調査地点で環境基準値(1 pg-TEQ/L)を下回っていました。

(2) 公共用水域底質

ダイオキシン類濃度は、0.12～24 pg-TEQ/g(平均値3.9 pg-TEQ/g)であり、すべての調査地点で環境基準値(150 pg-TEQ/g)を下回っていました。

(3) 地下水質

ダイオキシン類濃度は、0.043～0.044 pg-TEQ/L(平均値0.044 pg-TEQ/L)であり、すべての調査地点で環境基準値(1 pg-TEQ/L)を下回っていました。

表1 平成22年度結果集計表

媒体	区分	測定地点数	測定結果			単位	環境基準
			最低値	最高値	平均値		
水質	河川	16	0.043	0.34	0.097	pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L以下
	海域	2	0.046	0.053	0.050		
	計	18	0.043	0.34	0.092		
底質	河川	16	0.12	24	3.6	pg-TEQ/g	150pg-TEQ/g以下
	海域	2	1.1	11	6.1		
	計	18	0.12	24	3.9		
地下水質	—	2	0.043	0.044	0.044	pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L以下

pg: 1兆分の1グラム